

別紙

■立命館創始 150 年・学園創立 120 周年記念シンポジウム「自由に生きるための知性とはなにか？」

2020 年 5 月 24 日(日)

14:00～14:05 開会挨拶 仲谷善雄(立命館大学長)

14:05～15:00 基調講演

「わたしを発見する知:リベラルアーツと当事者研究」

熊谷晋一郎(医師・当事者研究/東京大学先端科学技術研究センター准教授)

15:00～17:25 パネルディスカッション (登壇者によるスピーチの後、ディスカッションに入ります)

【スピーチ 1】「東工大リベラルアーツの挑戦」

上田紀行(文化人類学者/東京工業大学教授 リベラルアーツ研究教育院長)

【スピーチ 2】「文系と理系の歴史から考える、リベラル・アーツのこれから」

隠岐さや香(科学史・科学技術論/名古屋大学大学院経済学研究科教授)

【スピーチ 3】「アジア発、“未来の共通言語”となる知とは」

山下範久(歴史社会学・社会理論/立命館大学グローバル教養学部教授)

熊谷晋一郎(医師・当事者研究/東京大学先端科学技術研究センター准教授)

モデレーター 松原洋子(立命館大学副学長)

17:30 閉会予定

シンポジウム登壇者(敬称略)

熊谷 晋一郎(くまがや・しんいちろう)

東京大学先端科学技術研究センター准教授、小児科医。脳性マヒの電動車いすユーザー。専門は小児科学、当事者研究。著書に『リハビリの夜』(医学書院)、『みんなの当事者研究』(編著、金剛出版)、『当事者研究と専門知』(編著、金剛出版)、『当事者研究をはじめよう』(編著、金剛出版)など。

上田 紀行(うえだ・のりゆき)

東京工業大学教授・同リベラルアーツ研究教育院長。専門は文化人類学。特に宗教、癒し、社会変革に関する比較価値研究。著書に『生きる意味』(岩波新書)、『かけがえのない人間』(講談社現代新書)、『愛する意味』(光文社新書)など。

隠岐 さや香(おき・さやか)

名古屋大学大学院経済学研究科教授。専門は科学史、科学技術論。著書に『文系と理系はなぜ分かれたのか』(星海社新書)、『科学アカデミーと「有用な科学」ーフォントネルの夢からコンドルセのユートピアへ』(名古屋大学出版会・第 33 回サントリー学芸賞受賞)など。

山下 範久(やました・のりひさ)

立命館大学グローバル教養学部教授。専門は歴史社会学・社会理論。著書に『教養としての世界史の学び方』(編著、東洋経済新報社)、『現代帝国論』(日本放送出版協会)、訳書に『知の不確実性』(イマニュエル・ウォーラーステイン著、山下範久監訳、藤原書店)など。